

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 北海道北広島市立西部中学校

種 別     保育園・幼稚園           小学校           小中一貫教育  
            中学校                         中高一貫教育       高等学校  
            教員養成                     技術/職業教育  
            特別支援学校                 その他 (    )

所在地 〒061-1268  
           北海道北広島市輪厚中央1-12-1

E-mail seibut03@ed.city.kitahiroshima.hokkaido.jp

Website http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/seibut/

児童生徒数 男子 95 名      女子 94 名      合計 189 名  
    児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (    )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

活 動 内 容	
総合学習 1年  【環境・地域理解】	<p style="text-align: center;"><b>「農業体験学習」</b></p> <p>1, 講演「北広島市の農業開拓の歴史を学ぶ」 6月4日 講師 河上 昭さん</p> <p>2, 2日間にわたる農業体験 7月16～17日 ○市内近隣農家 12件の協力による農業体験 ○野菜農家、酪農家等 ○地域理解、食と農の理解 ○グループによる体験学習と学習成果の発表会実施</p> 
保健体育 各学年  【福祉】	<p style="text-align: center;"><b>「救命救急講習」</b> 11月</p> <p>講師：消防署大曲出張所 *全校生徒による「心肺蘇生法とAED」学習</p> 
総合学習 道徳 1年  【福祉】	<p style="text-align: center;"><b>「福祉学習」</b> 11月</p> <p>①北広島市福祉読本「ともに生きる」を活用した福祉学習 ・施設職員を招いての高齢者との関わり方学習 ・認知症について</p> <p>②特別養護老人ホーム ケアハウスきたひろしま訪問実習 ・高齢者との接し方、ゲーム交流 ・クラス合唱披露 ・車いす体験と施設見学、食事の準備補助</p> 



活動内容

道徳  
全学年  
【人権】

「人権教室」 6月9日 講師：法務局職員



総合学習  
家庭科

人・自然・地域に学ぶ

「ふるりの味づくり心づくし」ESD かぼちゃ農園活動

全学年

- ① 芽立て集会 5月 8日
- ② かぼちゃ園土起こし・整地 5月16日 協力 地域農家 今井さん
- ③ 移植集会 6月 3日
- ④ 収穫・畑の整地・鶴撤去等 9月 1日～ 撤去作業9/16
- ⑤ ANAOPENでの販売9/18・学校祭での販売10/3・地域施設へ寄贈・市内給食への提供10/13～等 \*約400個を収穫

【ESD】  
【環境】  
【福祉】



総合学習  
3年  
【国際理解】

3人の留学生（パキスタン・イラン・インドネシア）と本校ALTを招いて、「日本と海外文化の違い」について交流・学習を深めました。  
○北海道大学留学生を招き、相互の国、文化等紹介 10月27日



課外活動

① 高齢者・障がい者施設・児童センター・小学校・地域行事での合唱  
合唱部：地域の福祉施設や児童会館、地域の文化祭や高齢者の慰安会等で合唱披露。





## 活 動 内 容

【国際理解・地域貢献・福祉・平和】

- ②「ユネスコ世界寺子屋運動」 書き損じハガキ回収
- ③北広島市と東広島市の平和交流事業への子ども大使派遣と受入  
広島県平和記念式典への参加 8月 東広島市訪問団受入と歓迎集会

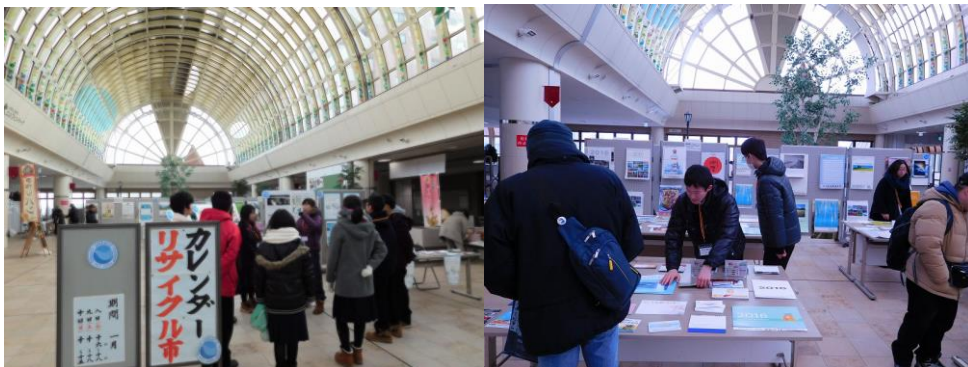


- ④高齢者宅の除雪ボランティア 2月1日(月)
  - ユネスコスクール、コミュニティ・スクール事業。
  - 福祉と地域貢献の視点から高齢者宅や施設、保育園等の除雪奉仕作業
  - 1, 2年生と教職員 140名参加 12箇所の除雪奉仕
  - 西部地区社会福祉委員会、市社会福祉協議会の協力。



【国際理解・地域貢献・福祉・平和】

- ①ユネスコ 世界寺子屋運動「書き損じハガキ回収」の取り組み
  - 学校での書き損じハガキの回収、リサイクル市での回収呼びかけ。
- ②北海道ユネスコ協会「リサイクルカレンダー市」へのボランティア生徒参加 (H27.1.9~10)
  - 生徒会の呼びかけによる 30名の生徒が冬季休業を利用して、リサイクルカレンダー市をお手伝い。北広島駅前広場で、ボランティア活動に取り組む。



### ■平成27年度のESD・ユネスコスクールとしての活動を振り返って

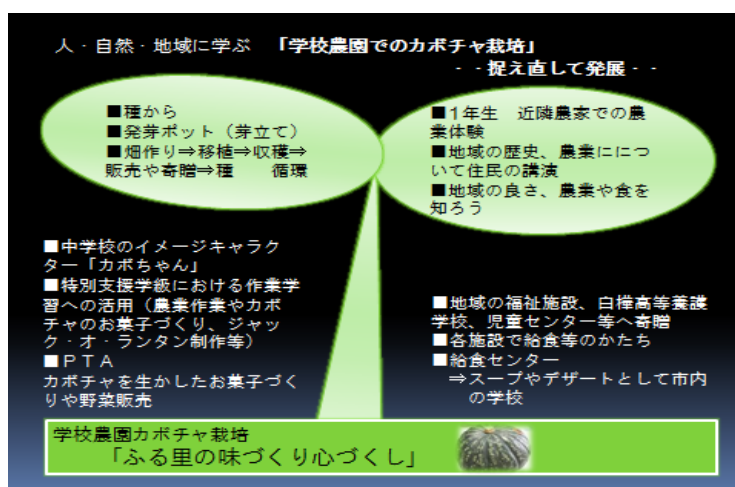
1, はじめに

本校のESD・ユネスコスクールとしての活動は、カボチャの農園活動を軸とした農園活動です。カボチャの種を植え、芽を出させ(芽立)、教室の発芽ポットで育て、双葉から本葉になったら、農園への移植時期を迎えます。農園作りは、環境委員会生徒やボランティア生徒の力も借りながら、地域の方が、たい肥、肥

料、土壌改良材などを入れた畑を、トラクターで耕し、ロータリーで整地してくれます。本校業務主事の農業指導もいただき、畝をつくり、マルチシートを張り、全校生徒で、苗を移植します。水やりや草取りが重要な移植後一ヶ月程度の当番やボランティアを学級ごとに組み、カボチャは農園で花を咲かせ実をつけます。また、特別支援学級では、新たに畑を耕し、ジャガイモや各種野菜を植え、農業実習も継続しています。

## 2. 地域に根ざした環境教育

全校生徒で収穫したカボチャや特別支援学級の生徒により収穫した野菜は、二次的な利用に取り組んでいます。カボチャは磨いて陰干しし、①販売（PTAバザー販売・市農政部や JA の協力による特別支援学級生徒の全日空オープンゴルフ大会での販売実習 2 年目）②カボチャを使った調理実習や PTA お菓子づくり③寄贈（高等養護学校・児童センター・高齢者や障がい者福祉施設・給食センター）用のカボチャは、生徒会事務局員や環境委員の手により、本校で育てたカボチャとして、近隣の関係機関で喜ばれています。給食センターでは、カボチャを利用したスープやデザート市内の給食に出してくれます。2 年目になるジャガイモづくりは、3 種類のジャガイモを収穫、袋詰め、商品としてのパッケージデザイン等を学習し、市の農政部のご協力により、ANA OPEN の観戦に訪れた全国のお客さんに「輪厚へようこそ」というメッセージタグとともに販売実習することができ、キャリア教育という視点でも大きな学習素材となっています。



## 3. 生徒自身のユネスコスクールとしての活動理解と今後の課題

本校は、コミュニティー・スクールとして、地域とともにある学校づくりを、また、ユネスコスクールとして「環境・福祉・人権・平和・国際理解」の取り組みを進めています。「think globally act locally」の精神と自分たちの活動に誇りを持ってもらいたいと、生徒会事務局から生徒会組織を活用し、自校の活動の意味づけを生徒自らに普及啓発してもらえるよう工夫しています。ボランティア活動の呼びかけを生徒会事務局や委員会活動からの発信・呼びかけにすることにより、「やらされる」活動から「自主的」活動へ移行していくことが課題です。1, 2 年生全員で取り組んだ除雪奉仕活動や北海道ユネスコ協会のリサイクルカレンダー市へのボランティアスタッフとして 2 日間、30 名の参加等、地域に根ざした地道な活動を生徒自らが、ユネスコスクールとしての自覚と誇りを持って取り組んでくれるよう活動を展開していきます。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）